

文教警察企業常任委員会資料

令和6年4月26日

宮崎県警察本部

1	幹部職員名簿	
(1)	警察本部長、各部長等	3
(2)	各所属長	4 - 5
2	宮崎県警察の組織	6
3	宮崎県公安委員会	7
4	警察本部各部の主な所掌事務	8
5	令和6年運営方針・運営重点	9
6	警察予算の内訳	10
7	令和6年度当初予算	11 - 12
8	治安情勢等	
(1)	犯罪情勢	13
(2)	交通事故情勢	14

1 宮崎県警察幹部職員名簿

警察本部長、各部長等

職 名	階 級	氏 名	
警察本部長	警視長	ひらい しゅういち 平居 秀一	*
警務部長	警視正	なら ふみよ 奈良 文代	*
生活安全部長	警視正	やまさき たけし 山崎 猛	*
刑事部長	警視正	くるめ ひでき 久留米 英樹	*
交通部長	警視正	くろせ しんたろう 黒瀬 信太郎	*
警備部長	警視正	ゆあさ はるゆき 湯浅 晴之	*
警務部参事官兼首席監察官	警視正	かわの ひろゆき 河野 博之	*
生活安全部サイバー戦略局長	警視	うめはら まもる 梅原 守	*
警察学校長	警視	ひだか たかし 日高 貴	

常任委員会執行部・・・*

1 宮崎県警察幹部職員名簿

各所属長

警 務 部			生活安全部			刑 事 部		
総務課長	田中 宏光	*	生活安全少年課長 (生活安全部参事官)	水口 圭二	*	刑事企画課長 (刑事部参事官)	橋元 裕明	
県民広報課長	寺田 健一		人身安全対策課長	上田 宏文		捜査第一課長	郷之原 実	
会計課長 (警務部参事官)	川越 直海	*	地域課長	末永 正		捜査第二課長	澤田 信也	
施設装備課長	安井 照和		通信指令課長	林田 啓行		組織犯罪対策課長	坂元 隆志	
情報管理課長	青田 英之		生活環境課長	佐藤 和利	*	鑑識課長	仙頭 雅弥	
総合管理課長	橋本 功次	*	サイバー 戦略局	サイバー企画課長	サイバー戦略局長 兼務		科学捜査研究所長	森下 隆博
警務課長 (警務部参事官)	甲斐 義勝	*		サイバー捜査課長	牧田 幸二			
監察課長	小野 哲也							
厚生課長	竹之内 慶郎							

常任委員会執行部・・・*

1 宮崎県警察幹部職員名簿

各所属長

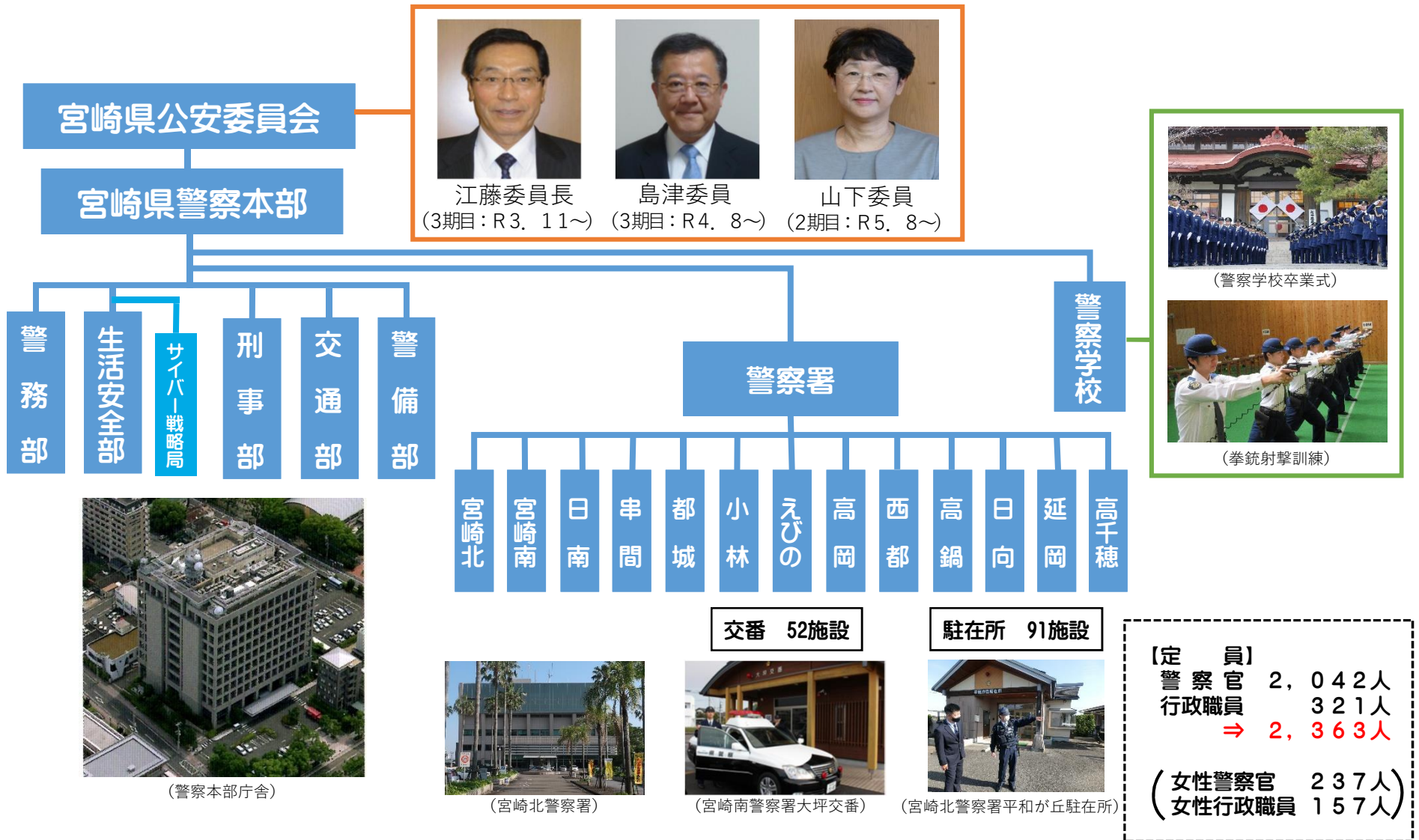
交 通 部		
交通企画課長 (交通部参事官)	奥野 仁	
交通指導課長	松迫 博	
交通規制課長	阪本 哲司	*
運転免許課長	池田 健二	*
交通機動隊長	後藤 泰三	
高速道路交通警察隊長 (交通部参事官)	佐藤 勝重	

警 備 部		
警備第一課長 (警備部参事官)	横山 良人	
警備第二課長	甲斐 淳一	
外事課長	川野 謙二郎	
機動隊長	山崎 陽一	

警 察 署		
宮崎北警察署長	迎 修二	
宮崎南警察署長	室屋 利春	
日南警察署長	戸松 俊二	
串間警察署長	福永 勉	
都城警察署長	中山 貴樹	
小林警察署長	中武 泰博	
えびの警察署長	溝邊 正人	
高岡警察署長	柳田 憲一	
西都警察署長	岩田 浩幸	
高鍋警察署長	杉村 昌俊	
日向警察署長	竹内 賢次	
延岡警察署長	三木 健次	
高千穂警察署長	井上 司	

常任委員会執行部・・・*

2 宮崎県警察の組織



3 宮崎県公安委員会

公安委員会制度

公安委員会制度は、国民の良識を代表する者によって構成される合議制の機関が警察の管理を行うことで、警察の民主的運営と政治的中立性を確保することを目的としている。

国については国家公安委員会を置いて警察庁を管理し、都道府県については都道府県公安委員会を置いて都道府県警察を管理することとされている。

都道府県公安委員会は、都、道、府及び指定県では5人、それ以外の県では3人の非常勤の委員によって組織されている。

宮崎県公安委員会の組織

宮崎県公安委員会は、3人の非常勤の委員によって組織されており、委員は知事が議会の同意を得て任命している。

公安委員の任務

○ 公安委員会の権限

都道府県公安委員会は、法律の規定に基づき、運転免許、交通規制、犯罪被害者等給付金の支給等の裁定、古物営業等の各種営業の監督等国民生活に関わりのある数多くの行政事務を処理している。

○ 監察の指示等

警察法第43条の2の規定により、都道府県公安委員会は、必要があると認める場合には、都道府県警察に対して、監察に関する指示を具体的・個別的なものとする事ができるとされている。

都道府県警察による監察で講じた措置が十分でない認められる際には、警察を第三者的立場から監督する機関である公安委員会が、具体的又は個別的に監察に指示を行うことにより、警察に所要の監察を実施させることができるようにしたものである。

○ 公安委員会に対する苦情申出制度

警察法第79条の規定により、警察職員の職務執行について苦情がある者は、公安委員会に対し、国家公安委員会規則で定める手続に従い、文書により苦情の申出をすることができることとされている。

4 警察本部各部の主な所掌事務

<p>警 務 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報に関すること。 ○ 予算、決算及び会計に関すること。 ○ 人事、定員、給与及び警察装備に関すること。 ○ 監察に関すること。 ○ 警察教養に関すること。 ○ 福利厚生に関すること。
<p>生活安全部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪、事故その他の事案に係る市民生活の安全と平穏に関すること。 ○ 少年の非行防止に関すること。 ○ ストーカー、DV対策に関すること。 ○ 地域警察に関すること。 ○ 110番通報等の緊急通報の受理に関すること。 ○ 風俗営業、質屋営業、古物営業等の許可等及び指導取締りに関すること。
<p>刑 事 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 凶悪犯（殺人、強盗など）、粗暴犯（暴行、傷害など）、窃盗犯の捜査に関すること。 ○ 偽造、贈収賄、詐欺、背任、横領その他の知的犯罪的犯罪の捜査に関すること。 ○ 暴力団等に係る犯罪の取締りに関すること。 ○ 麻薬、覚醒剤その他の薬物、銃器犯罪に関する取締りに関すること。 ○ 犯罪鑑識及び科学捜査の研究に関すること。
<p>交 通 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全教育及び地域交通安全活動に関すること。 ○ 道路交通関係法令違反の指導取締りに関すること。 ○ 交通事件及び交通事故に係る犯罪の捜査に関すること。 ○ 交通安全施設の整備及び管理に関すること。 ○ 運転免許に関すること。
<p>警 備 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害警備に関すること。 ○ 警衛・警護に関すること。 ○ 国際テロリズムその他外国人に係る警備犯罪の取締りに関すること。

5 令和6年運営方針・運営重点

運営方針

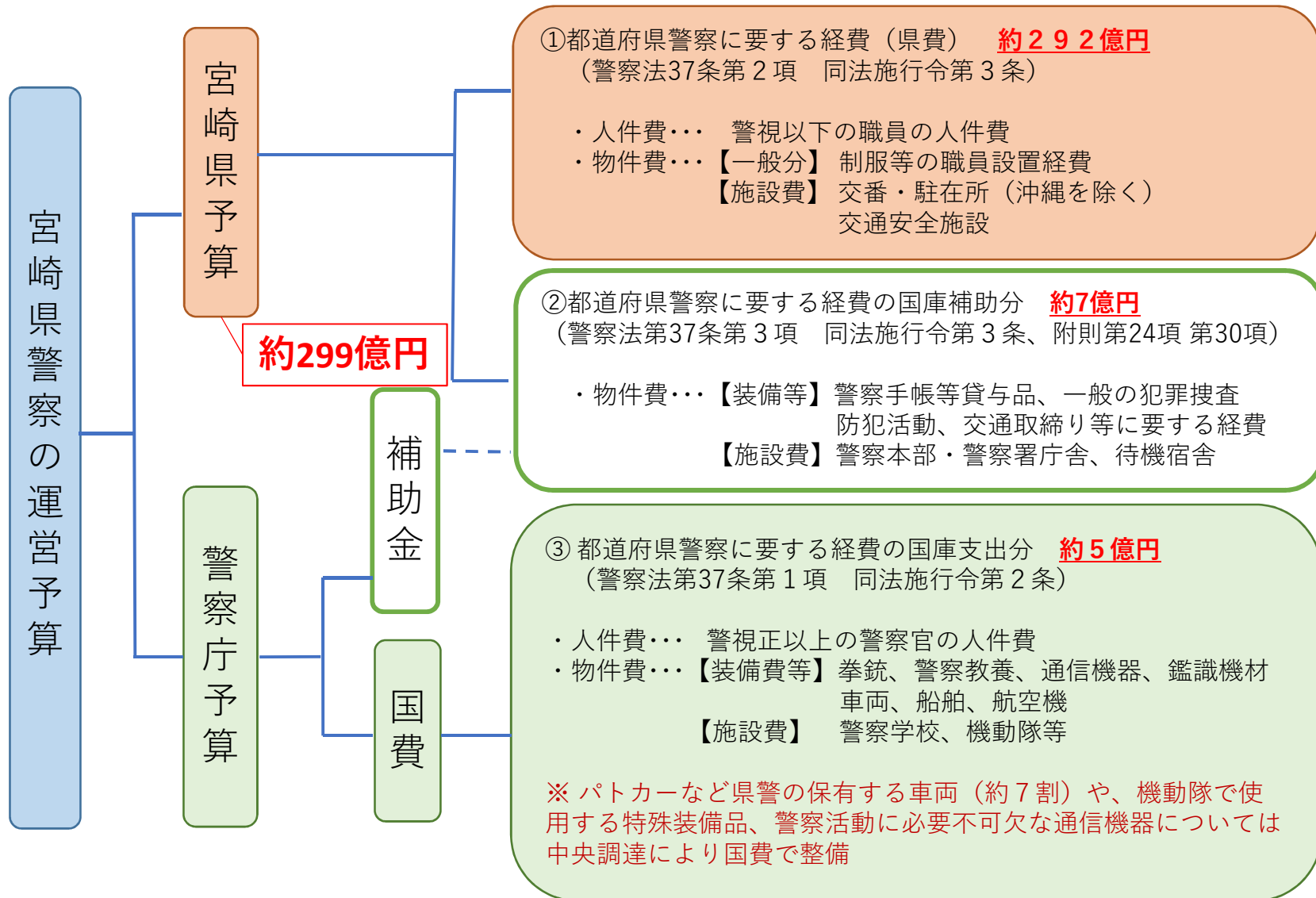
県民の期待と信頼に応える強くしなやかな警察

～安全で安心な宮崎をめざして～

運営重点

- 子供・女性・高齢者を守る取組と特殊詐欺等の犯罪防止対策の推進
- 重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進
- 交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現
- 災害、テロ等緊急事態への的確な対処と警護の万全
- 県民の立場に立った警察活動の推進と社会の変化に適応する警察
基盤の整備
- サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進

6 警察予算の内訳



7 令和6年度当初予算（宮崎県の支出する予算）

概要

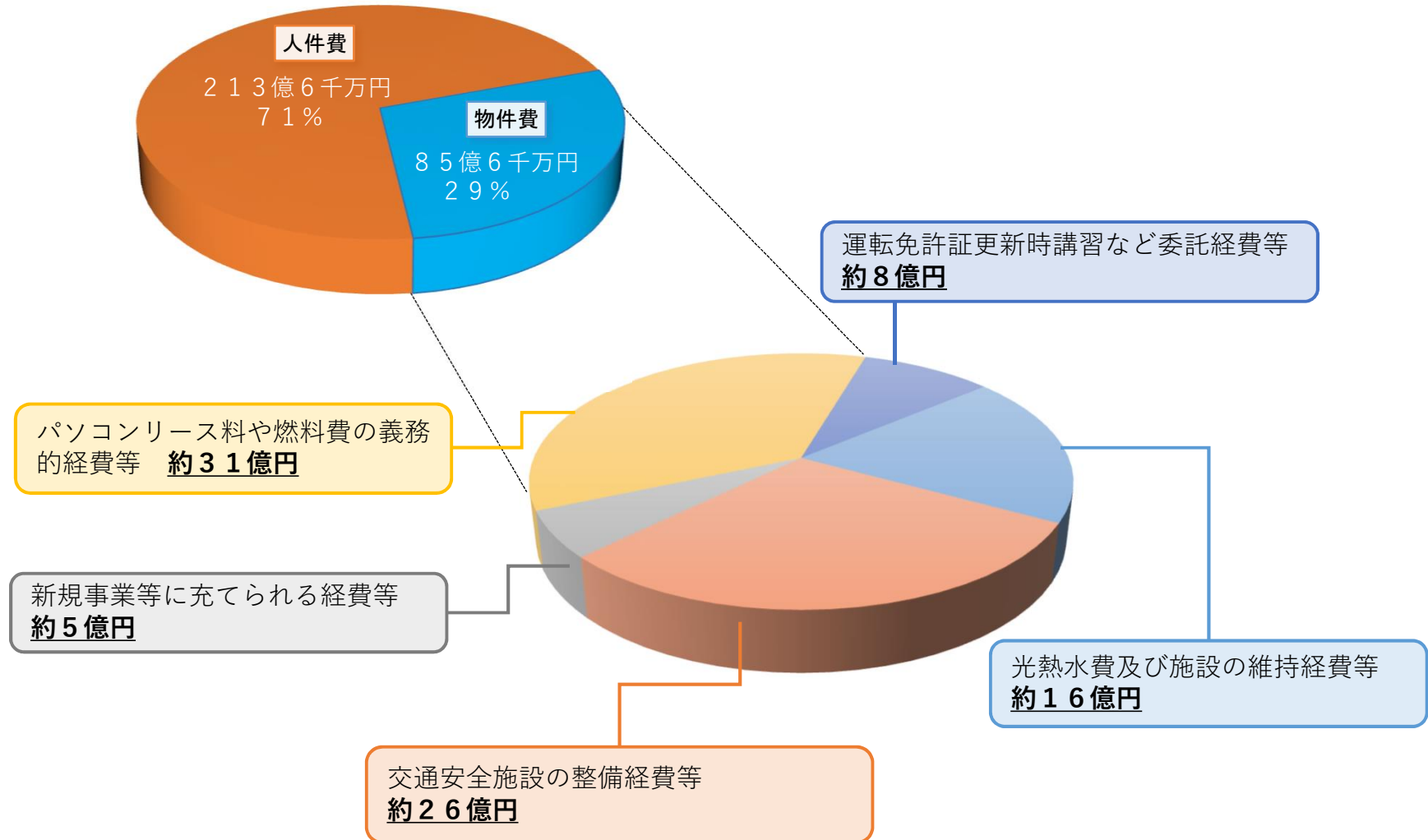
区分	令和6年度当初	令和5年度当初	増 減
総 額	299億3,162万9千円	277億7,118万3千円	+ 21億6,044万6千円 (+7.7%)
人件費	213億6,662万7千円	206億1,346万6千円	+ 7億5,316万1千円 (+3.6%)
物件費	85億6,500万2千円	71億5,771万7千円	+ 14億 728万5千円 (+19.6%)

令和6年運営方針に係る予算

- 子供・女性・高齢者を守る取組と特殊詐欺等の犯罪防止対策の推進 2億3, 951万1千円
- 重要犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進 2億3, 060万円
- 交通事故の抑止と安全で快適な交通社会の実現 17億2, 259万7千円
- 災害、テロ等緊急事態への的確な対処と警護の万全 4, 725万4千円
- 県民の立場に立った警察活動の推進と社会の変化に適応する
警察基盤の整備 3億9, 524万8千円
- サイバー空間の脅威に対する総合施策の推進 1, 835万7千円

7 令和6年度当初予算（宮崎県の支出する予算）

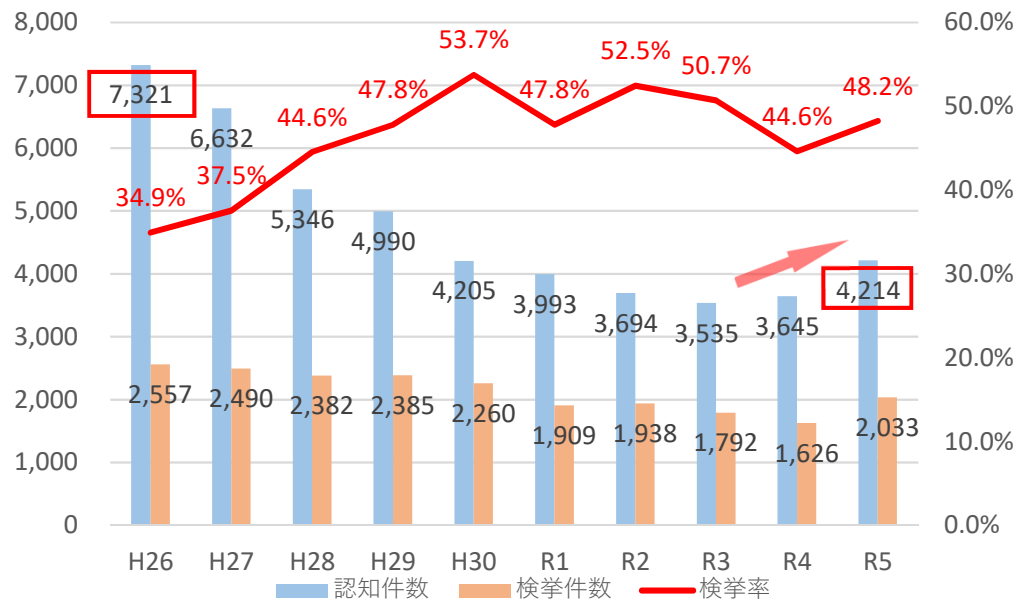
宮崎県警察予算 299億円



8 治安情勢等

犯罪情勢

刑法犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移



令和5年の主な情勢

- 特殊詐欺
被害件数：52件（±0件）
被害額：3億5,807万円（+2億2,179万円）

被害態様

- ・ 手口別
架空料金請求詐欺：34件（65%）
- ・ 高齢者被害
65歳以上高齢者：28人（54%）
- ・ 犯人からの接触方法
架電：30件（58%）
ブラウザ警告画面：11件（21%）
メール、SMS等：8件（15%）
- ・ 交付形態
電子マネー：22件（42%）
振り込み：17件（33%）

- 自転車盗、万引き
刑法犯認知件数全体の約44%を占有

被害防止対策

○ 特殊詐欺被害防止対策



【自動通話録音機貸出し】



【特殊詐欺被害防止マイスター指定】

- ・ コンビニ店舗への電子マネー購入希望者への声かけ、全件110番通報の依頼

高齢者：概ね1万円以上
全年齢：5万円以上

○ 自転車盗、万引き被害防止対策



【自転車盗難防止モデル校の指定】



【駐輪場における施錠状況の点検】

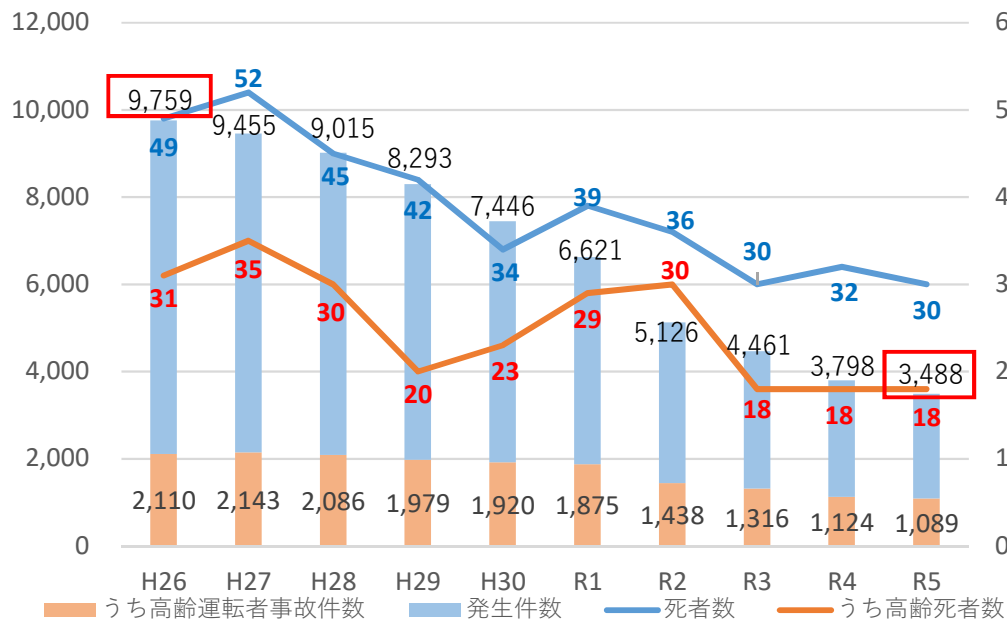


【万引き防止モデル店の指定】

8 治安情勢等

交通事故情勢

交通事故発生件数・死者数の推移



交通事故防止対策

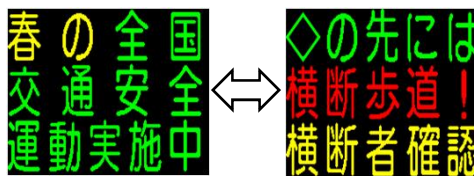
○ 歩行者保護対策



【モデル横断歩道の指定】



【反射材の配布】



【道路に設置している交通情報板を活用した広報啓発】

○ 高齢運転者対策



【制限運転宣誓の推奨 (制限運転宣誓式)】



【安全運転相談窓口における指導・助言】

令和5年の主な情勢

○ 交通死亡事故の特徴

死者数	歩行中死者数	年代別死者数	高齢運転者死亡事故件数
30人 (-2人)	12人 (40.0%) うち高齢者8人	高齢者: 18人 (60.0%) 50歳代: 5人 (16.7%)	14件 (+3件)

○ 負傷者の特徴

負傷者数	歩行中負傷者	年代別負傷者
3,908人 (-337人)	281人 (7.2%) うち高齢者112人	高齢者: 780人 (20.0%) 40歳代: 707人 (18.1%)

○ 交通人身事故の特徴

事故件数	発生場所	第1当事者の年代
3,488件 (-310件)	交差点及びその付近 1,681件 (48.2%)	高齢者: 1,093件 (31.3%) 20歳代: 598件 (17.1%)